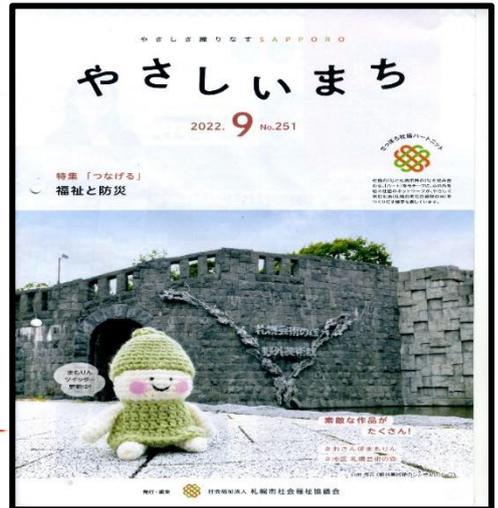




- 1 広報誌発行 令和4年9月初旬
- 2 配布地域等 札幌市内の社協関係及び各町内会  
道内及び全国の社協組織事務局へ
- 3 発行団体等 札幌市社会福祉協議会
- 4 寄稿寄稿者 北海道防災士会 代表 横内春三



「9月は災害週間」

〔災害は、心の備えから・・・〕

ふくしを紡ぐ

## 地域で活動する防災士

～助けられる人から助ける人へ～

北海道防災士会 代表 横内 春三氏



### 防災士とは

皆さんは「防災士」をご存じでしょうか？

防災士とは、特定非営利活動法人日本防災士機構が認証する民間資格で、「自助」「互助」「協働」を原則として、社会のさまざまな場で、減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有する者として認められた人」のことです。1995年1月の阪神淡路大震災を契機として、「防災士制度」が創設されました。2003年10月に防災士第1号が誕生し、現在は22万人を超える防災士が全国で活動しています。

日本は四季豊かで自然に恵まれる一方、自然災害の発生が多いため、防災士は、災害は起こるという前提のもと、その被害を最小限に抑えていく「減災」という考えで行動しています。それらを活かして北海道南西沖地震、阪神淡路大震災、有珠山噴火、東日本大震災などの被災地で活動した経験があります。



事業所等の地域貢献型 活動支援の様子

### 今年は設立10周年！北海道防災士会の活動

北海道防災士会は2012年3月に設立され、今年で10周年を迎えました。

災害対応は「心の備え」が重要となるため、当会では、「自助」を目的とした様々な啓発活動を行っています。対象は幅広く、各自治体、学校、連合町内会等の地域住民組織、福祉事業所など様々です。それらに対して、防災知識の啓発・体験活動、防災講演・研修会などを開催しています。さらに地域貢献・地域防災力を高め

る目的でイベントへの参加を指導することもあります。

学校では、中学校・高校・大学等で避難所運営ゲーム北海道版「Doはぐ」の実施や住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）「マイ・タイムライン」などの各種アプリの活用を通じて、自分で考え、課題を見つけ、行動できることを目指して学んでもらっています。

そのほか、北海道特有の厳寒期の災害体験等の実施や、地域減災につなげるために、災害の記録や記憶を伝承し、世代を超えて「伝えて、備えて、広げて」いく取り組みを行っています。



学校防災等体験活動指導の様子(大学生対象)

### これから

私たちは人生で常に防災に直面しています。

「減災」に取り組むためには自主防災はもちろん、地域の学校・事業所・コンビニ等が一緒になって、避難時の手助けや、電源、避難資機材・食料等を域内で確保していく必要があります。そのためにも、地域減災に重点をおく防災士を育成し、今後も地域での活動を増やしていきたいと考えています。

防災士の資格取得など  
お問い合わせ

北海道防災士会  
札幌市北区新琴似  
4条6丁目5-3  
TEL:090-8905-7166(横内携帯)  
MAIL:ahk87864@sotell.ocn.ne.jp



イメージキャラクター  
防災イモ



facebookはこちら